

# 整形外科のご紹介

当院の整形外科には、右の写真の5名が在籍し、日々の診療に携わっております。整形外科が扱う疾患は多部位、多様にわたっており、さらに、求められる医療技術の進歩はとどまるところを知りません。我々は、骨折などの外傷性疾患に対する診療は、整形外科地域医療の本幹として考えておりますが、他領域においては、特に関節疾患（変形性関節症、関節リウマチ、骨壊死、靭帯損傷や膝半月板損傷などの関節外傷など）に重きをおいた診療を行っております。

手術件数を見ますと、高齢者の関節疾患に対する手術症例数が右肩上がりが増加しています。人工膝関節置換術は10年前（平成18年）には31件であったものが、5年後（平成23年）には120件となり、以降その水準を維持しています。さらに内訳を見ますと、手術侵襲がより少ない人工膝関節部分置換術（単顆置換術：UKA、膝蓋大腿関節置換術：PFA）の件数の割合が増加しています。（図1）

また、最近では、変形性膝関節症や大腿骨顆部骨壊死に対して、人工関節を用いない手術として、膝関節周辺骨切り術の手術件数が飛躍的に増加しています。（図2）

股関節に関しては、人工股関節全置換術の手術件数は10年前に比べ2倍以上に増加しています。（図3）リハビリテーション部門は、施設・

スタッフともに、たいへん充実しています。当科との連携はとてども緊密であり、疾病や外傷を単に治すだけでなく、生活の質（QOL）を向上させる治療を目指しています。日常生活や痛み等でお困りの方は、お気軽にご相談下さい。



副院長・部長 久保田 健治



部長 堀川 朝広



医長 原 慎太郎



医員 坂本 圭



医員 吉村 直人

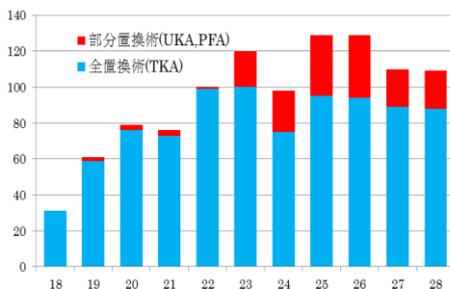


図1 人工膝関節置換術手術件数

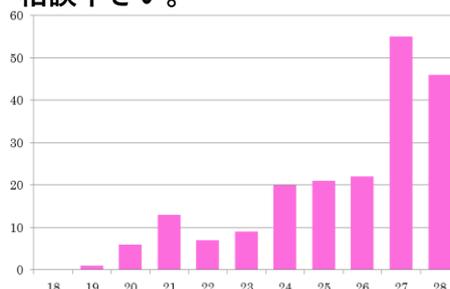


図2 膝関節周辺骨切り術手術件数



図3 人工股関節全置換術手術件数